深堀中だより

令和８年１１月１８日　文責
第１０号　長崎市立深堀中学校
校　長

学校教育目標「共に学び、高め合う、希望あふれる生徒の育成」

学校の未来を託す一票





現在、生徒会役員改選に向けた選挙運動が始まっています。朝のあいさつ運動やポスター掲示、演説などを通して、立候補者がそれぞれの思いや公約を全校生徒に伝えています。

私は、学校をよりよくしたいという強い思いをもって立候補してくれた皆さんに心から拍手を送りたいと思います。立候補することは大きな勇気が必要です。よりよい学校づくりのために一歩を踏み出したその挑戦そのものに大きな価値があります。

また、生徒会選挙は立候補者だけのものではありません。全校生徒一人一人が有権者であり、学校の代表を選ぶ大切な役割を担っています。友人関係や雰囲気だけで判断するのではなく、候補者の考えや学校への思いにしっかりと耳を傾け、自分の意志と責任をもって投票してほしいと思います。

今回の選挙が、生徒一人一人が学校の一員としての自覚を高め、自分たちの学校を自分たちでよりよくしていこうとする意識につながることを期待しています。

三者面談へのご協力ありがとうございました

先日、全学年で三者面談を実施いたしました。ご多用の中、ご来校いただきました保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

３年生にとっては、進路決定に関わる大変重要な面談となりました。それぞれが自分の将来や目標について真剣に考え、受験校を決定する大切な機会になったことと思います。これから受験本番に向けて不安や迷いを感じることもあるでしょう。しかし、自分で決めた目標に向かって、一日一日を大切にしながら努力を積み重ねてほしいと思います。学校としても、最後まで全力で支援してまいります。

一方、１・２年生の面談では、学習面や生活面をはじめ、学校生活全般について話し合うことができました。中学校生活は、将来の生き方や進路について考えるための大切な時期でもあります。今回の面談をきっかけに、学習習慣や生活習慣だけでなく、「将来の自分に必要な力とは何か」「どのような大人になりたいのか」といったことについても真剣に考え、その実現に向けて行動に移してほしいと願っています。



子どもたちの成長を支えるためには、学校と家庭が同じ方向を向いて取り組むことが何より大切です。今後とも、ご家庭での励ましや見守りをお願いいたします。学校も保護者の皆様と連携しながら一人一人の成長を支えてまいります。